

「超高齢社会をイキイキ暮らす仕組みづくり講演会」 フォトレポート

開催日時:2016年4月13日(水) 14:00~16:00(13:30~受付開始)

会場:大手町ファーストスクエアカンファレンス EASTタワー2階 Room A
東京都千代田区大手町 1-5-1

講演内容:14:00 革新的サイバニクスシステムによる重介護ゼロ社会の実現に向け

山海 嘉之 氏

15:05 当たり前前に暮らすための仕組みづくり

石川 治江 氏

定員:150名



当日配布資料

(参加者には、「人生は二幕目がおもしろい」無料プレゼント)

昨今、少子・高齢化が進んでいる中で、身体機能の改善、介護福祉のサポート、生活支援分野など解決すべき社会的課題を多く抱えています。そうした分野での人々の社会的ニーズの高まりに医療以外でも多くの分野に介護ロボットを提供、また、介護が必要な方に寄り添って応えるなど多様な取り組みの実例は、社会的課題解決となると期待されます。

このような背景を踏まえ、今回、標記の講演会を企画いたしました。当日は、健康生きがいつくりアドバイザーを中心に 100 名近い方々のご来場がございました。

山海嘉之先生の講演は、先生が開発された、「革新的サイバニックシステム」(略称)HAL を用いた脳神経系にダメージを受けた患者のリハビリテーションの事例、HAL と iPS 細胞を用いた神経系の再生医療との連携事例など最先端の研究開発動向、また、介護福祉施設で介護者の仕事を支援する HAL の適用事例など盛り沢山で大変興味深い講演内容であった。一方、後半の石川治江先生の講演は、「当たり前にも暮らすための仕組みづくり」というタイトルで、「障害をもった人との出会い」、「駅にエレベーターを設置する運動」など自らのこれまでの経験を踏まえ、24 時間 365 日地域介護サービスシステム化の実践に至る経緯を紹介しました。介護実務に携わる方にとっては大変参考になる内容でした。

山海 嘉之先生の講演風景



石川 治江先生の講演風景



(2016年4月13日 撮影・編集構成:大熊 謙治)